

現代美術作家杉本博司が挑んだ「文楽」の新しい境地 『杉本文楽 曾根崎心中』初の海外公演 いよいよ9月27日スタート

国際交流基金は、2013年9月～10月の1カ月間にわたり、人形浄瑠璃文楽「杉本文楽 曾根崎心中 付り観音廻り」ワールドプレミアとなる欧州公演を行います。現地での記者会見と関連イベントも決定いたしましたのであわせてご案内申し上げます。

【マドリード】9月27日（金）28日（土）（全2公演）会場：エスパニョール劇場

◆記者会見 9月26日（木）午前（予定）

◆文楽レクチャー・デモンストレーション

日程：9月28日（土）12:00～14:00 会場：エスパニョール劇場

内容：人形遣いによるレクチャー・デモンストレーション

【ローマ】10月4日（金）5日（土）（全2公演）会場：アルジェンティーナ劇場

◆記者懇談会 10月1日（火）13:00～15:00

◆文楽レクチャー・デモンストレーション

日程：10月1日（火）18:30～20:30 会場：ローマ日本文化会館

内容：太夫・三味線・人形遣いによるレクチャー・デモンストレーション

デモンストレーション前にイタリア人日本研究者によるレクチャーあり

◆文楽関連映画上映会 10月3日（木）18:30～21:00 会場：ローマ日本文化会館

【パリ】10月10日（木）～19日（土）（全11公演）会場：パリ市立劇場

◆文楽レクチャー・デモンストレーション

日程：10月8日（火）18:30～20:30 会場：パリ日本文化会館 大ホール

内容：太夫・三味線・人形遣いのレクチャー・デモンストレーション

◆杉本博司 講演会

日程：10月16日（水）18:30～20:30 会場：パリ日本文化会館 大ホール

今回のヨーロッパ公演は、「日本スペイン交流400周年」の記念事業としてマドリードで幕を開けます。慶長遣欧使節が渡欧して日本とスペイン両国間のさまざまな交流がはじまってから400年となる記念の年に、マドリードの中心地で430年の長きに渡り優れた舞台芸術を提供してきた伝統のあるエスパニョール劇場で上演されます。マドリードでの公演について、海外初の日本文化会館として1962年に開館したローマ日本文化会館の開館50周年記念事業として公演を行います。会場は、ローマで最も格式の高い劇場のひとつであり、ロッシーニのオペラ「セビリアの理髪師」の初演の場所として世界的に知られるアルジェンティーナ劇場です。そして最後に、世界的にも著名な舞台芸術の祭典であるパリのフェスティバル・ドートンヌの目玉公演のひとつとして、パリ市立劇場にて11公演を行います。

詳細：<http://www.jpf.go.jp/j/culture/new/1305/05-05.html>

主催者・問い合わせ

国際交流基金 文化事業部 欧州・中東・アフリカチーム 北川

Tel: 03-5369-6063 E-mail: Yoko_Kitagawa@jpf.go.jp

広報用画像・取材のお問合せ

平昌子 (TAIRAMASAKO PRESS OFFICE) Tel: 090-1149-1111 info@tmpress.jp



© Hiroshi Sugimoto, courtesy of Odawara Art Foundation



© Hiroshi Sugimoto, courtesy of Odawara Art Foundation